

鼓童

2021

Autumn

vol. 384

KODŌ

立てや我が連れ

「鼓童ワン・アース・ツアー2021〜童」より「こえ聲」

| 特集 |

鼓童村構想から40年

活動理念「くらす まなぶ つくる」とは



[特集]

鼓童村構想から40年— 活動理念「くらすまなぶつくる」とは

～ハンチョウの構想とこれからも目指していくこととは～

◎編集・構成:坂本実紀、編集部 写真:鼓童

鬼太鼓座から鼓童への転換。突然のハンチョウ(初代鼓童代表・河内敏夫)の逝去。厳しく大きな試練が訪れるたびに、皆が一つになって危機を乗り越えてきたこれまで。昨年からの「コロナ禍」においても、ECをはじめとして皆が内側に持つ可能性を引き出し合いながら、新しい未来の形を模索している。

一昨年ハンチョウの33回忌を経て、創立40周年となる2021年、鼓童を作る軸となったハンチョウの言葉を思い返し、偲ほうと「ハンチョウについて語らう会」がEC終了後の8月、鼓童内で行われ、各メンバーが思いを寄せた。

ハンチョウの人となり

藤本容子には、忘れられない思い出がある。

「1984年、初めてのワン・アース・ツアー。半年に及ぶ長期海外ツアーの折りに、機関誌編集者として『どうしても自分で写真を撮りに行きたい』とハンチョウに相談すると、『写真撮影の他に、ロードマネージャー、会計、物販の仕事もするならOK』との条件で許可されたんです」(藤本)

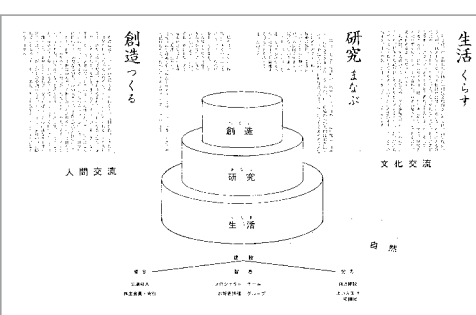
すべてが、ほぼ未経験。そのような者に任せるなど、普通ならあり得ない。数字にとことんこだわりの、一つの仕事の大変さを誰よりも熟知していたハンチョウだ。「懸命に頑張ったけれど、失敗と試練の毎日で、理不尽な思いにもなりました。でも、無謀としか言えないようなその同行許可は、ハンチョウがどれだけ私というか、人間を信じる人だったかということでしょう。そう思ったらもう、感謝が溢れてしまっただけ……」(藤本)

ハンチョウは一人の夢を受け止め、その前進の力を信じて託してくれる人だったと振り返る。

鼓童の活動理念に惹かれ、1982年に鼓童のスタッフとなった菅野敦司は、ハンチョウの掲げた「むら」をこう語る。

「東京育ちのハンチョウは、むらは人が群れる場所という認識で考えていた。閉鎖的なむらではなく、開かれたむらという言い方もしている。旅をしても根無し草になるのではなく、寄港地や母港のようなエネルギーを補充する場所のイメージをもっていました」(菅野)

1983年、ハンチョウは「鼓童村構想で『くらすまなぶつくる』というビジョンを明確にした。



「鼓童村構想」の図

鼓童について考え、語る場を持つ意味

「鼓童の、真つ暗闇の怖さの中に美しい太鼓の音がバン！と来た時の感動が衝撃的だったんです。こんな太鼓を打っている人たちはどんな風に生きているのか、と」（小松崎正吾）
 そこからハンチョウの村構想や活動理念に触れた小松崎は、研修所入りを決める。佐渡に来て12年、表現や仕事の種類も広がってきた。

「今はお客さんと鼓童がつながる扉が増えたからこそ言葉にリスクも伴います。言語化したものの神秘性も一つの表現として意識しないと『薄い』と思われるでしょう。ハンチョウさんが自分たちのラジオを聴いたらどう思うだろう、永六輔さんが聴いたらポロカス言われるんだろうな、言ってほしいな、とか考えながらやっています」（小松崎）
 小松崎は、言葉の重みをそれぞれが持つためにも今回の様に「鼓童という生命体について考える」機会を設け続けたいと考えている。



小松崎正吾
 (ハートビートラヂオ収録の様子)



1984年鼓童ワン・アース・ツアー

これからの

「くらすまなぶつくる」を考える

①くらすく 佐渡の人との繋がり

小木の町なかに暮らす見沼知弘は、小木には港町ならではのオープンに人を受け入れる環境があると話す。

「小木の町の盆踊りも、最初は入りづらかったのですが、声かけていただいて、手ほどきを受け、ちよつとずつ顔を覚えてもらおうようになり、徐々に入れるようになりました。近所の方が鼓童の記事が載ると必ず新聞を入れてくれたり、お魚や野菜のおすそ分けをたくさんくださったりと助かっています」（見沼）

また、コロナ禍で佐渡にいる時間が増えた三浦康暉は佐渡の人たちのライフスタイルを見て「くらす」とは何かを考えるきっかけになった。
 「ある友人は朝海に出て、畑をして、仕事を



毎年4月15日に行われる柿野浦集落の祭り
 お昼時には研修所に集落の方、研修生、修了生が集う

し、また海に行つて寝るんです。佐渡の人は、祭りが密接に根付いていて、人生をどう生きていくかに軸があるように見える。芸能は、祭りや暮らしから生まれ、暮らしは人と人の摩擦や触れ合いでしか生まれ、暮らしは人人間くさい鼓童らしい太鼓を打ち、作品で伝えることの幅を増やすためにも、暮らしの余白を楽しむことが重要だと思つています。最近では稽古終わりに釣りに行くとか、と今まで考えられなかったことをしようと思えるようになりました」（三浦）

つくることの土台は「くらし」にある。もしかしたらそこは、ツアーを繰り返してきたコロナ禍の前では気づけなかった部分があったかもしれない。

②まなぶく 研修所

携帯電話やSNSが当たり前前の世界から佐渡にやってきた研修生が直面するのは、人に伝えることや本音で向き合うことの難しさだ。柿野浦の鬼太鼓はその突破口にな

美しい佐渡の景色は創造の源にもなる



るといふ。

『やってみいさ』の一声で練習に参加させてもらい、祭りでは『鼓童のもんか。研修生か。がんばれよーありがと』と感謝の言葉もいただく。それが小さな幸せや嬉しさになって研修生たちが変わるきっかけになっている」（三浦友恵）

柿野浦集落には高齢の方も多く、生活や祭りを通した関わり合いの中で「その方たちにも太鼓をきいてほしい」という気持ちで芽生え、研修生のやる気に繋がっていく。

「人に伝え、本音で向きあえることで、表情や感情をダイレクトに感じて、心と心がぶつかる瞬間がある。それを近くで見ていると、こつとやって本音の音でつくりだされていくんじゃないか、そういう中で伝えたい音で出てくるんじゃないのかなと感じます」（赤澤京）

研修生が、近隣の集落に受け入れてもらうことは、佐渡に深くなじむ最初の一步となり、その経験は大きな財産となっている。



8月小木港祭りの様子。地元の方に日頃の感謝を伝える大切な機会でもある



4月。林の整備や冬に向けて薪準備を「村民行事」としてグループ全員で行う

③ つくるく創作

佐渡という土地が鼓童の創作にもたらす影響はとても大きい。今回佐渡をテーマに「鼓」と「童」の舞台をつくる際、船橋裕一郎は鼓童にある資料をみて、ハンチョウの思い描いていたものと、佐渡の営みをうまくつないでいけなかつと考えた。

『こんな感じの曲で』と最初のラフスケッチみたいなものをメンバーに提示して表現してもらったことが多いのですが、佐渡はそんな最初のイメージが浮かびやすいですね」(船橋)

はつきりした四季。海流の影響をつけて根付いた文化。集落ごとで細かく違うお祭りや神事。島の人々が重ねてきた歴史。あらゆる角度から佐渡を見ることで創作意欲がくすぶられる。

「佐渡には音楽的だなと感じられる景色や音が沢山あるんです。海もきれいなだけじゃなくて洞窟に入ると鳥肌が立つような神秘的な暗さがある。そんな佐渡の自然にインスパイアされることも多く、自宅でフィールドレ

コーディングした音そのまま作品にすることもあります」(住吉佑太)
バチを自分たちでつくると一見非効率なことも、木の手触りを知り、音に思いを馳せることに繋がる。こういった精神性も世代を超えて繋げてきた鼓童の文化のひとつだ。鼓童にはくらしの中で学んでいる、自分たちで何かをつくらうというリズムが根付いている。

持続可能な暮らし、そして「むら」とは

鼓童は、佐渡の活性化に貢献することを願いとし、太鼓の表現活動を通して、日本文化の素晴らしさを世界に知らしめ、次代を育て、独自の創造世界を構築することを目指して生まれた集団です。

「振り返れば、集団が生まれた理由自体がSDGs(※)そのものでした。そして、ハンチョウが佐渡からワン・アース(一つの地球へと願いを広げ、その実現を夢見て、これまで歩んできました。願いの血脈が流れているんです」(藤本容子)

「コロナ禍で、都市部は一極集中しているがゆえのリスクがあることも明らかになりました。地方にも、人がつくりだすもので花が広がる鼓童のようなライフスタイルがあることをひとつの選択肢として示していきたい」(洲崎拓郎)

鼓童は舞台活動を行う一企業でありながら、「くらすまなぶつくる」を循環させて生きている共同体でもある。これをハンチョウはむらと呼んだのかもしれない。

(※)SDGs:「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。

これからの鼓童

船橋は、ハンチョウの言葉を先輩たちが繋ぎ続け、それがだんだん巡りだす時期になったと感じている。

「言葉や思いも何代か経ることで、鼓童の文化となり、根付く。そうやって育くんできたものが強さや美しさに繋がるのではないかと考えています。鼓童には上は70歳代がいて、10代の研修生や、さらに若いメンバーから新しい命が産まれたりもしています。

佐渡は人口減少が深刻な課題となつていますが、島外からやってきた人間が、家族でいえば3世代くらいの集団になつて暮らしている。その中で言葉や思いが受け継がれ、鼓童の文化となり、根付いてきている。そうやって育まれるものが強さや美しさに繋がるのではないかと考えています。今後、更に豊かな考え方が広がっていくのではないかと思っています」(船橋)

近年、鼓童村では里山に太鼓のバチに使うアテビの木を植えることも始めた。バチを作ることは自分たちの音をつくることに繋がる非常に大事なことのひとつだ。今後、鼓童村の森で生まれた材を使って太鼓やバチをつくりだし、自分たちの音をつくる世代もでてくるだろう。

くらすまなぶつくる。世界へ打ち出す鼓童の音は、これからもより説得力のあるものになつていくはずだ。

ワン・アース・ツアーと鼓童村

(1983年、ワン・アース・ツアー企画説明会でのハンチョウの言葉より)

文化の問題というのは国と国とでやっていくよりも、民間レベルでやっていった方がよい。国際連合(United Nation)があるが、村連合(United Village)という発想で、いろんな人たちとつきあっていく。

その一環として、来年のツアーを海外ツアーということじゃなく「ワン・アース・ツアー」としたい。「一つの地球」のツアー。

日本とか海外とか問題なく、一つの場所なんだ。東京だろうが、ニューヨークだろうが、どこかの田舎だろうが全然関係ない。そういう考え方で動いていく。そしてそういうところで出会った人たちを、ここに引き寄せたり、うちで作ったものをそこに持っていったり、そういう相互交流の中で「むら」を作っていく。



鼓童創立40周年 お祝いメッセージ

(順不同)



鼓童創立40周年

前身の「佐渡の國鬼太鼓座」から数えて約半世紀。さまざまな方々との出会い、多くの学びを得たことにより、ここまで活動を続けることができている。創立40周年の節目にあたり、鼓童初期より親交があり、見守ってくださっている方々よりお祝いメッセージをいただきました。本誌および鼓童サイトにメッセージをご紹介させていただきます。



河内寿美子様

鼓童初代代表ハンチョウ(河内敏夫)の母上

皆様よく頑張りました。これからもお体に気を付けて頑張ってください。



1987年8月「鼓童スペシャルー追悼 河内敏夫」公演会場となった小木・城山公園にて。ご主人の故 河内武之様とともに。



Photo©Akihiko Sonoda

山下洋輔様

ジャズ・ピアニスト

鼓童創立40周年おめでとうございます。創立間もない頃に合宿に参加させていただき、その後、方々で共演する機会にも恵まれました。その度に、太鼓のもつ素晴らしい表現力に圧倒されながら、自分の可能性を探ってきました。おかげさまで、こちらもやり続けることができます。鼓童の出す音がある限り、我々の創造力は刺激を受け続けることでしょう。どうかその圧倒的な音を今後も叩き出し続けてください。



Mark Ross (マーク・ロス)様

Diorama Arts Centre London Trustee
ダイオラマ芸術センターロンドン評議員

44年前、パリのエスパス・カルダン劇場でピエール・カルダンに紹介され「佐渡の國鬼太鼓座」、鼓童のオリジナルメンバーの多くに出会いました。私は、当時ピロボラス・ダンスシアターに所属していて、快適なホテルに滞在していました。しかし鬼太鼓座は、劇場の稽古場に布団を敷いて寝泊まりし、自炊をしながら稽古をしていました。

その後、鬼太鼓座の代表が「ボストンに来てマラソンに参加したい」「公演をしたい」と言って、アメリカ・コネチカット州の森の中にある私の家に、みんなで泊まりに来たんです。森の中で笛を吹いたり、リハーサルをしたり、私が作った大量のスパゲッティを

食べたり、みんなで長いランニングをしました。そして、東海岸を行ったり来たりしながら演奏会をしました。ボストンでは、世界的なランナーであるビル・ロジャースと一緒にトレーニングをしました。ボストンマラソンのゴール地点には、見たこともないような大きな大太鼓が屋台の上に置かれていました。鬼太鼓座のメンバーが完走すると大太鼓を叩き、全員がゴールするとミニコンサートを行いました。彼らはセンセーションを巻き起こし、ハンコック・シアターでのコンサートは完売しました。私は、その時の太鼓の振動が全身に伝わってくる感覚が忘れられません。走ることで演奏することは、織り込まれていました。

鼓童になったときの代表だったハンチョウは、私と親しく連絡を取り合い、将来の夢や計画を語ってくれました。鼓童が共演したい演奏家の話もよくしてくれました。私がハドソン川のハウスボートに住んでいたニューヨークにもよく泊まりにきました。私がロンドンに移ったときも、ハンチョウはよく電話をかけてきて、「これから鼓童の企画や打ち合わせがあるので、家に泊めてもらいたい」と言って来ました。あるときは、先祖がワーグナーのパトロンであったフランツ・フォン・バイエルン公爵のような人たちに会いに行かせてくれました。その結果、バイエルン公がミュンヘンでのコンサートを後援してくれて、以来、ドイツの方々は鼓童の大ファンになってくださっています。ロンドンのサドラーズウェルズ劇場では、13回のコンサートがすべて完売し、劇場に一晚こもって鑑賞の機会を目指した人もいたそうです。44年間、鼓童の友人でいられたことは、喜びと光栄です。ありがとう。

三浦 康暉 みうら こうき

今後の目標はHeart beat RADIOグッズの製作です。
グッズ案大募集中…。

小松崎 正吾 こまつざき しょうご

鼓童のことを知って頂く扉の一つとして、楽しくお話しさせて頂く
中で、鼓童の音の奥にある為^{ひとなり}人や生き方が垣間見えればと…

池永 レオ 遼太郎 いけなが れおりょうたろう

鼓童をもっと身近に感じて頂ける様なラジオ、そして皆様が僕
たちの演奏をより一層楽しめる様なラジオにしたいと思っています。

鶴見 龍馬 つるみ りょうま

鼓童や鼓童メンバーの事を知ってもらえる裾野になったらいい
なと思います! 公演とは違った形で聞いている皆さんとフランク
に意見交換できる様な、そんな場作りをしたいです!

今月の 鼓童メンバー

2020年春からスタートした「鼓童ハートビートラジオ」。
抜群の行動力・チームワークで、さまざまな切り口から
鼓童の魅力が伝わるコンテンツを定期的に発信中です。
今回はハートビートラジオチーム8名が登場! それぞれに
ラジオへの意気込み・思いなどを語ってもらいました。



小平 一誠 こひら いっせい

主に台本を担当しております。私達のことをもっと知ってもらえる
きっかけになれば嬉しいです。鼓童をもっとあなたの側に!

三枝 晴太 さえぐさ せいた

関わる全ての方が良い気持ちになれるラジオを目指しており
ます!

平田 裕貴 ひらた ゆうき

音声・映像の編集、生配信の音響を担当しています。鼓童メン
バーのトークを良い音でお届けできるよう努めます!

中谷 憧 なかたに しょう

毎回ラジオの収録を行う度に、今回はどんなラジオになるのだ
ろうと新鮮な気持ちになります。普段鼓童の中にも、初めて
聞くことや、勉強になることがこのラジオには沢山あります。
舞台は勿論のこと、このラジオでも、リスナーの方に楽しんで頂
けるよう、これからも頑張ります!



ハートビートラジオとは、

普段、舞台では感じることでか
ない演奏者やスタッフの声を
お届けしたり、リスナーの皆
様からの質問やメッセージ、
リクエストにお答えしていく
、ラジオです。

新型コロナウイルスの感染拡大で思うように活動できない中、
鼓童の音や声、そして思いをお届けする方法はないかと話し合い、
スタートしました。台本作成、収録、編集、全ての工程を自分たち
の手で行っております。舞台の裏側や、メンバーのプライベートな
話など、より舞台が楽しめる番組づくりを目指しております。
家事をしながら、作業しながら、ワークアウトしながら…
鼓童の音や声で繋がっていただけたら嬉しいです。

YouTuberにて好評配信中、現在は月に2回のペースで
新しいコンテンツをお送りしています。

最新URLはこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=4p4znABG2qQ>



ハートビートラジオは
こちらから!

金津流梁川獅子躍と鼓童

岩手県江刺、松尾神社の神事芸能として250年以上の歴史を持つ。

鼓童との関わりは1980年に同じ舞台に出演する機会を持ったことから始まる。同年、6名の方が佐渡へ来島し指導いただいた。1981年、地元へ出向いて習い、同年3月、「獅子躍」を初演。折に触れ各世代が獅子躍を習うために岩手に通ってきたが、2007年には「庭元への特別入門」という形で師弟関係を結び受け入れていただいた。



EC2015より
スアール・アグンの皆さん

「最初は1オクターブに4音しかない、バリの特殊な音階で作曲したのだ。」
「指定された楽器はジエゴグ。1991年のECで初めてコラボした、バリの島のスアール・アグンというグループから譲ってもらったものだ。」

「残っているジエゴグは、西洋音階にチューニングされたものしかなくて、民でも逆に、民

「師匠は歌を大事にされていて、『もの怪を感じさせない。踊りは変えてもいいけど歌は変えるな』と言われました。音程をとるよりも、山の稜線のように聴こえる歌が正解なんです」(住吉)

「鼓童では、岩手に通って各世代が獅子躍を習い、独特の体使いを踊り込み、体に叩き込んできた。先輩へのリスペクトが込められた新しい鼓童の獅子躍を目で、耳で楽しんでほしい。」

演目図鑑



聲

こえ

40周年ツアー第三弾「童」にてオープニングを飾る新曲「聲」。
竹の楽器を奏で、竹の飾りで舞う、岩手の獅子躍をオマージュした
壮大かつ重厚な新しい演目はどのように作られたのか。
作曲と踊り構成を担当した、住吉佑太と三浦康暉に話を聞いた。

構成・編集：坂本実紀、編集部 写真：岡本隆史、太田順一

バリのジエゴグ

パンチのある真っ赤な照明の演出ではじまり、森の中から獅子が出てくるような迫力が味わえるこの曲は、演出の船橋裕一郎が住吉佑太に作曲を、三浦康暉に振付の依頼をしてつくられた。バリの楽器、竹ガムラン(ジエゴグ)から生み出される竹の音と、竹の飾(ささら)が目を引き獅子躍の新しい演目だ。

竹の楽器

「船橋から『竹の楽器を使って、映画AKIRAの世界観をイメージした曲を』という話がありました。一度僕もAKIRAで音楽を担当した芸能山城組さんにハマっていた時があったのですぐにピンときたんです」(住吉)

「指定された楽器はジエゴグ。1991年のECで初めてコラボした、バリの島のスアール・アグンというグループから譲ってもらったものだ。」

岩手の獅子躍

獅子躍の大きな特徴である、背中に取り付けた長い飾(ささら)も竹からできている。メンバーは今回、自分たちで佐渡の竹を取り、乾燥させ、和紙を貼るなどの加工をし全て新調した。

「獅子躍は太鼓を打ちながら歌い、踊りまでこなす伝統芸能だ。二人は以前地元に向い学んだ金津流梁川獅子躍を、今回はリモートで師匠に見てもらい、『もの怪』を感じさせる踊りを目指した。東北の獅子躍の被り物で人の顔が見えない『人ならざるもの』の不気味さも意識し、鼓童でも黒い衣装、スカートを着用。スカートがふらふらと揺れる不気味な感じが漂う。」

歌は「一礼申して」「立てや我が連れ」と獅子が立ち上がるイメージ



2021年「童」初演・佐渡公演での演舞



EC1989より・金津流梁川獅子躍

鼓童と獅子躍の歴史をなぞる振付

「これまで獅子躍を元に創作された曲としては『Lion』(1990年レナード衛藤作曲)がある。『Lion』の様な獅子躍の演目を」と船橋に依頼された三浦は、独特の音の構造を持つこの曲の振付に悩んだ。

「5拍子がうまくなかったので、きつかけになる音に踊りをはめたんです。そうすると音楽の進行と、踊りが微妙にずれているような不思議な伝統芸能っぽい仕上がりになりました」(三浦)

「振付では、最初の5拍子部分は獅子躍に対してのオマージュを、曲の半ばには本来の獅子躍の振りを取り入れ、最後は鼓童の『Lion』へのリスペクトを込め、振り付けた。『終盤は、迫力を出そうと身体能力の限界に挑んでいます。お客さんがスリリングに感じるくらい、踊り手がギリギリに当たりそうな複雑な踊りにも注目してほしいです』(三浦)

「タイトル『聲』は、人が発する声だけでなく、石を叩いて鳴らすような音や森の中から湧き上がってくる響きなどの意味も持っている。『得体のしれないイメージを出すために、拍子感やグルーブ感をつかめないものにしたかった。なおかつそれが気持ちよく聞けるように、5拍子で進行していく音の中に7拍

刻の結ひ音

ライター
坂本実紀

2021年12月19日(日)、佐渡市の金井能楽堂で名誉団員が揃い鼓童メンバーと共に40周年の年を納める特別公演が行われる。小島千絵子が名誉団員それぞれの太鼓、歌、笛、踊りに焦点をあて演出し、ゲストには琉球舞踊の金城光枝さんを迎える特別な舞台だ。

佐渡への感謝と次世代への思い

この公演は小島が、鬼太鼓座から半世紀の重要な節目を迎え「佐渡でここまでやってこられたお礼を名誉団員として伝えたい」という思いで企画した。同時に、鼓童メンバーへ芸を繋ぎ、受け渡す目的もあるという。

現在、コロナ禍の中で「新しいものを作り出そう」という、新鼓童とも言えるような新しい流れを小島はたくましく思うと同時に、この過渡期を後押しする意味でも、言葉と舞台で継がれるべきことの重要性も感じている。

「私たちが現役のうちに、舞台をみんなと一緒にやることで芸を伝えておきたい。現場で同じ作品を創ることでより伝えられるのではないかと思います」(小島)

バトンをもらう側の三浦友恵にも「受け継がれるものがあり、その中から新しいものを作り出していく」という意識がある。

「鼓童で踊りを踊る人は少ないです。でも、鼓童から踊りがなくなってしまうたら、表現の幅が減ってしまう。この公演を通して先輩の芸や人間性を吸収する機会を大切にしたい」(三浦)

小島から出演について直接声をかけられた三浦は、嬉しいと同時に気が引き締まったという。「名誉団員との稽古で感じるのは、圧倒的な存在感です。いつも押されぎみで『自分もこんな風になれるのかな』と不安がよぎるほど。でも『いや、大丈夫』と聞き直してしがみついていくしかないという気持ちになります」(三浦)

三浦は、鼓童の踊り手の一人として小島が築いてきた芸を受け継ぎ、自分の芸にしながら自分の踊りを目指していきたいと話した。

公演のみどころ

ゲストは鼓童研修所でも指導していただいている琉球舞踊の恩師、金城光枝さんだ。「尊敬する先生で、一緒に舞台上に立てる幸せな時間を楽しみにしています。吸収できるものはとことん吸収し、先生や先輩に負けないようエネルギーを出していきたい」(三浦)

沖縄から佐渡へ嫁いで来られたご縁から、小島や藤本容子とともに女性ユニットを結成。ECや沖縄公演での共演歴もある。今回はぜひ佐渡の能舞台で一緒に踊っていただきたいと、小島が特別ゲストとしてお招きした。

また、公演の後にアフタートークも設けている。普段は住むところや活動もそれぞれ違う名誉団員4人が揃い、舞台の話はもちろん、佐渡での昔話や島の人たちとの交流エピソードに思いを馳せる貴重な時間になりそうだ。

佐渡で、鼓童で、道を作り続ける

芸はもちろんのこと、小島たちのライフスタイルも若いメンバーにとってお手本となる。

「女性は結婚を機にキャリア形成が難しくなる部分もあります。でも、小島や、金城先生をはじめ、結婚や子育てを経て、復帰して芸をしていく道を作ってくれた方がいることで、『自分のことを諦めるのは違うな』と思えました」(三浦)

今後鼓童に入ってくるメンバーのためにも受け継いでいきたい部分だ。

佐渡で、鼓童で芸を極めてきた小島が今考えているのは「島のために何ができるか」ということ。「私たちが一番最初の経験者だから、いい見本になりたい。私が自分で出会える、行ける範囲での自分の役割や、求められている範囲での人が喜ぶことをやって過ごしていきたい」(小島)

佐渡に渡り、芸を磨いてきた大先輩は、鼓童に大切なものを手渡し、佐渡にも恩返ししていきたいと未来を見据えている。



2019年芸歴40周年記念「千の舞」より、小島千絵子



2021年浅草公演「歩(あゆみ)」より、三浦友恵

1992年に小島千絵子、藤本容子、金城光枝により結成された鼓童初の女性ユニット「花結」



鼓童オンラインストアからのお知らせ

■秋の新商品!!

秋の新商品が続々です。創立40周年を記念しての待望のベストアルバムが11月13日(土)発売。岡本太郎氏が揮毫してくださった「鼓童」の文字をデザインしたパーカーはグレーのみ会場販売予定です。数に限りがありますので、お早めにお求めくださいませ。

ベストアルバムとカレンダーのお得なセットはオンラインストアのみのお取り扱いです。お見逃しなく!

鼓童40周年記念アルバム「Tomorrow」
発売:11月13日(土)
価格2,500円(税込)



<ブラック> <ネイビー> <グレー>



プリント色
グレー
プリント色
ブルーグレー
プリント色
ブルーグレー

鼓童パーカー
岡本太郎「鼓童」
(ブラック、ネイビー、グレー)
価格5,500円(税込)

鼓童カレンダー2022
価格1,500円(税込)



鼓童40周年記念
アルバム&
鼓童カレンダー2022セット
価格3,500円(税込)



■鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630 <http://store.kodo.or.jp>

年末年始の休業期間

鼓童事務局、およびたごう館(佐渡太鼓体験交流館)での太鼓体験につきまして、12月24日(金)~1月5日(水)の期間、お休みさせていただきます。

メール、SNSなどのお返事も休止させていただきます。どうぞご了承ください。

鼓童の会 会員プレゼント

研修生が春から心を込めて育てた無農薬・天日干しの「研修所米」2キロを抽選で3名様にプレゼントします。ふるってご応募ください!



■申込方法/会員ID、お名前、ご住所、電話番号、研修生や鼓童へのメッセージをお書き添えの上、「研修所米希望」と明記してお申し込みください。

■締切/11月30日(火)必着

お米は12月中に発送いたします。発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

■宛先/〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1

鼓童の会プレゼント係

Fax: 0259-86-3631 Email: friends@kodo.or.jp

(メールは件名を「鼓童の会プレゼント申し込み」としてください)

鼓童文化財団研修生募集

【2022年度(41期)研修生募集】

「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コースの応募を11月30日(火)まで受付中です。

■研修期間/2022年4月~2024年2月(1年10ヶ月)

■応募資格/鼓童の舞台メンバーを目指す、原則として18歳以上25歳以下(2022年4月1日時点)の健康な方。書類選考を経て、研修所で実地面接による選考を行います。

鼓童ウェブサイト内の応募フォームにてお申し込みください。折り返し、書類選考のご案内をお送りいたします。

<https://www.kodo.or.jp/apr>

■日程/2022年1月8日(土)~1月9日(日)

実地面接
(1泊2日)

■場所/鼓童文化財団研修所(佐渡市柿野浦)

※実地面接は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンラインに変更となる可能性があります。

■問合せ/鼓童文化財団(石原、本間)

Email: kenshujo@kodo.or.jp Tel. 0259-81-4100

ご連絡はできるだけEメールでお願いいたします。

今月の付録

- 「古本募金きしゃぼん」チラシ
- 鼓童ワン・アース・ツアー2021~童 公演情報チラシ
- 鼓童文化財団の人材育成パンフレット
- ご支援のお願いチラシ
- 研修生募集チラシ

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期・中止の可能性がございます。最新情報は鼓童サイトをご確認ください。

鼓童公演

創立40周年ツアー 第三弾
鼓童ワン・アース・ツアー2021～童

11/13(土) 愛媛県八幡浜市 ★

八幡浜市文化会館ゆめみかん 17:00開演
S席5,000円、A席4,000円(高校生以下1,500円、A席のみ対象)(当日券 各500円増)
問 八幡浜市文化会館ゆめみかん
Tel. 0894-36-3040

11/14(日) 香川県高松市 ★

サンポートホール高松 17:00開演
一般5,000円、U25 2,500円
問 デューク高松 Tel. 087-822-2520
(平日11:00～17:00)

11/17(水) 広島県広島市 ★

上野学園ホール(広島県立文化芸術ホール)
18:30開演
一般6,000円、U25 2,500円
問 TSS事業部 Tel. 082-253-1010
(平日10:00～18:00)

11/19(金) 福岡県福岡市 ★

福岡市民会館 18:30開演
一般6,000円、U25 2,500円
問 キョードー西日本 Tel. 0570-09-2424
(平日11:00～17:00、日・祝休)

11/20(土) 佐賀県佐賀市 ★

佐賀市文化会館 17:00開演
一般5,000円、U25 2,500円
問 佐賀市文化会館 Tel. 0952-32-3000

12/4(土) 愛知県豊川市 ★

豊川市文化会館 大ホール
16:00開演
S席5,500円、A席4,500円、B席3,000円
問 恵の実(えのみ)後援会 Tel. 0533-65-9814

12/5(日) 岐阜県岐阜市 ★

岐阜市民会館 16:00開演
1階席 一般5,000円、学チケ(25歳以下)2,500円
2階席 一般4,000円、学チケ(25歳以下)2,000円
問 岐阜市民会館 Tel. 058-262-8111

12/7(火) 大阪府摂津市

摂津市民文化ホール(くすのきホール)
18:30開演
一般5,500円、高校生以下・65歳以上3,500円
問 摂津市民文化ホール(くすのきホール)
Tel. 072-635-1404
→完売いたしました。

12/11(土)-12(日) 京都府京都市 ★

京都芸術劇場 春秋座
13:00開演
一般6,000円、学生&ユース(25歳以下)3,000円
問 京都芸術劇場チケットセンター
Tel. 075-791-8240(平日10:00～17:00)

12/14(火) 静岡県沼津市

沼津市民文化センター 大ホール
18:30開演
一般6,000円、高校生以下3,000円
問 イーストン Tel. 055-931-8999

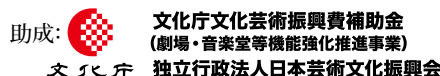
12/16(木) 新潟県新潟市 ★

新潟テルサ 19:00開演
6,000円
問 TeNYチケット専用ダイヤル Tel. 025-281-8000

12/18(土) 新潟県長岡市 ★

長岡市立劇場 14:00開演
S席6,000円、A席5,000円
問 TeNYチケット専用ダイヤル Tel. 025-281-8000

鼓童ワン・アース・ツアー2021～童

助成: 

★助成対象公演地

鼓童創立40周年記念公演

11/25(木)-28(日) 東京都渋谷区

Bunkamura オーチャードホール
問 チケットスペース Tel. 03-3234-9999
詳細は右ページをご覧ください。

創立40周年ツアー 第三弾

鼓童ワン・アース・ツアー2022～童

5～7月

関東、東海、関西、東北、北海道、新潟(予定)

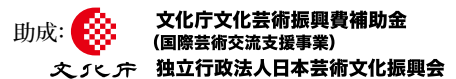
鼓童浅草特別公演2022「翔走」

6/23(木)-26(日) 東京都台東区

浅草公会堂 **先**
23、24、26日 14:00開演
25日 11:00/15:00開演(2回公演)
7,000円
問 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

Kodo One Earth Tour 2022:Tsuzumi ヨーロッパツアー

ツアー期間:2022年2月初旬～4月初旬
予定国名
ポーランド、クロアチア、イギリス、イタリア、ドイツ、フランス、フィンランド、リトアニア、ロシア、ラトビア(予定)

助成: 

小編成公演

Concert for KIDS～0歳からの鼓童

11/14(日) 新潟県魚沼市

小出郷文化会館大ホール 11:00開演
親子ペア3,000円(大人1名+未就学児は何名でもOK) 一般2,500円、小～高校生1,000円(当日券 各500円増)
問 魚沼市小出郷文化会館
Tel. 025-792-8811

鼓童 交流公演 2021

12/11(土) 静岡県周智郡

森町文化会館 大ホール 15:00開演
一般5,500円
ミキホール友の会・いわた文化友の会5,000円
問 森町文化会館 Tel. 0538-85-1111
(9:00～17:00、月曜休館)

いしかわの伝統芸能 プレミアムシアター

12/11(土)-12(日) 石川県金沢市

北國新聞赤羽ホール 15:00開演
1,000円
問 一般財団法人石川県芸術文化協会
Tel. 076-263-6080

Friends of Kodo 鼓童の会
鼓童の会 チケット
先行予約のご案内

先 印のある公演は先行予約があります。会員の皆様は先行予約申込み用紙を同封しております。お申し込み方法はそちらをご確認ください。

料金はすべて税込み、特に表記の無いものは全席指定席、未就学児の入場は不可。発売日表記のないものは発売中、または検討中です。鼓童サイトの公演スケジュールのページから各公演会場の情報サイトにリンクしています。感染症対策につきましては、お問い合わせのサイトをご参照ください。

鼓童創立40周年特別公演

12/19(日)新潟県佐渡市

鼓童「刻の結び音(ときのゆいね)」

■金井能楽堂 ■14:00開演

■4,500円(当日券 300円増)全席自由
学生は当日3,000円のキャッシュバック

■出演:藤本吉利、小島千絵子、藤本容子、
山口幹文、宮崎正美、米山水木、三浦友恵、
小野田太陽、中谷憧

特別ゲスト:金城光枝(琉球舞踊)

終演後には出演者によるアフタートークを行います。

☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

助成:ARTS for the future!



新潟県太鼓フェスティバル

1/30(日)新潟県柏崎市

■柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

■13:30開演(予定)

■2,000円(高校生以下無料)

■ハガキorインターネットで事前申し込みが必要
(申し込み期間11/25~12/25)

※申し込み多数の場合は抽選

☎新潟日報サービスネット Tel. 025-250-0300

鼓童佐渡宿根木公演2022

4/29(金・祝)-5/7(土)新潟県佐渡市

※休演日5/2、6

■宿根木公会堂

■4/29、5/3 14:30開演

4/30、5/4、5/7 11:00/14:30開演
(2回公演)

5/1、5/5 11:00開演

■大人(中学生以上)4,000円、小人(4歳~小学生)
1,800円(当日券 各500円増)全席自由
2022年3月チケット発売予定

☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

鼓童創立40周年記念公演 Bunkamura オーチャードホール



40周年ツアー2連作「鼓」「童」、昨年浅草でお披露目予定だった「巴」の3作をお届けする創立40周年を象徴するかのような特別な4日間。さらには「鼓」「童」には鼓童創立メンバー4名が加わり、オーチャードホールにふさわしい重厚で豪華な演出にてお届けします。

たゆみなく芸の高みへと挑みつづける鼓童の心・技・体を、どうぞご堪能ください。

■S席8,800円、A席6,800円、B席4,800円

☎チケットスペース Tel. 03-3234-9999

	11/25(木)	11/26(金)	11/27(土)	11/28(日)
13:00	-	-	鼓 Tsuzumi	巴 Tomoe
14:00	-	童 Warabe	-	-
15:00	巴 Tomoe	-	-	-
17:30	-	-	童 Warabe	-
18:30	-	鼓 Tsuzumi	-	-

11/25(木)

「巴」(特別出演 見留知弘)

11/26(金)

1公演目「童」(特別出演 藤本吉利)

2公演目「鼓」(特別出演 小島千絵子)

11/27(土)

1公演目「鼓」(特別出演 山口幹文)

2公演目「童」(特別出演 藤本容子)

11/28(日)

「巴」(特別出演 見留知弘)

助成:ARTS for the future!



- 鼓童40周年記念のオーチャードでの舞台、みんなと共に参加できる喜びを爆発させます(藤本吉利)
- 進化し続ける新鼓童を寿ぎ「千絵子効果」を贈ります。半世紀へ向かって一步!(小島千絵子)
- 見える見えない沢山の皆様の励ましへの感謝と、未来への希望の光を声に乗せて、鼓童の魂の轟きに紡ぎ合わせてまいります(藤本容子)

- 緊張しつつも楽しみにしています(山口幹文)
- 最近一緒に舞台に立つ機会がめっきり減った名誉団員の方達とのコラボがとても楽しみ。Don't miss it!(齊藤栄一)
- 24年ぶりに、この大きな大きな舞台に立つ事ができます。グループの40周年記念と、自身の在籍30周年も兼ねて、巴公演で感謝を込めて打ち込みます(見留知弘)



オンライン配信
アース・セレブレーション2021
ご視聴・ご支援ありがとうございました!



次回2022年のECは
8月19日(金)~21日(日)開催予定。
佐渡でお待ちしております!



最新情報は、[ウェブサイト](#) [facebook](#) [Twitter](#) [メルマガ](#) をご覧ください。

[f @KodoHeartbeatJp](#) [t @KodoHeartbeat](#) [i @kodoheartbeat](#)

<https://www.kodo.or.jp>

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ
Tel. 0259-86-3630(代) (月~金 9:30~17:00)
Fax: 0259-86-3631
次号は2月10日の発行を予定しています。